

2022年度学校法人幾徳学園事業計画

1. 大学運営方針

1-1 理念・目的

- （1）大学・学部・研究科の理念・目的を定期的・体系的に検証する仕組み（外部動向を理念・目的と中長期方針への反映）
- （2）長中期計画をベースにした各部門の具体的事業計画への展開

1-2 内部質保証

- （1）内部質保証システムの運用と適切性の継続的な検証と改善
- （2）内部質保証システムを有効に機能させるためのPDCAサイクルの点検と評価、改善
- （3）自己評価委員会の運用・点検・改善
- （4）内部質保証委員会および自己評価委員会と関連委員会の連携機能強化の点検
- （5）大学ポートレートの内容充実を通じた情報公開の継続的な推進

1-3 3つのポリシーに基づく教育の質保証と向上（教学マネジメントの強化）

- （1）現行の3つのポリシーの点検・見直し，アセスメントポリシーの導入
- （2）3ポリシー運用委員会によるポリシー運用実効化の推進
- （3）3つのポリシーに基づく教育の質保証PDCAサイクルの点検と改善
- （4）3つのポリシーに基づく教育の質保証評価結果の外部公表の検討

1-4 大学運営のDX化推進

- （1）大学全体のDX化方針の策定とDX化推進部門の設置（デジタル化とデータの活用）
- （2）各部門のDX化方針と推進計画の検討

2. 教育

2-1 教育改革推進

- （1）全学的な教育改革の着実な推進（時代変化への対応、学生本位、質保証を核とした教育の実現を目的とする）
- （2）教育改革推進会議による計画進捗状況の評価・改善
- （3）オンライン教育の活用、教育システムのデジタル化の推進

2-2 教員・教員組織

- （1）新たな学部学科構成の設置と申請準備および対応する教員組織・配置の具体化
- （2）教育専任教員の状況調査と教育効果の評価および改善案の検討
- （3）教員の教育評価の実施と評価結果に基づく教育活動の改善案の検討
- （4）教員自己点検・評価に基づく，教員の活動の評価・改善の継続的实施
- （5）多様な教育内容へ対応するために実務家教員、外国人教員の採用の検討

2-3 学部における教育

- (1) DP・CP およびシラバスの学生への周知徹底とそれに基づく履修指導の実施
- (2) シラバス記載内容と授業実施内容との整合性の全学的な点検・評価
- (3) 成績評価、単位認定の適切な実施に向けた点検と評価、改善
- (4) CAP 制の状況調査と単位数の見直し検討
- (5) 学位課程内の各種教育プログラムの実施状況の評価と改善
 - ① スーパーサイエンス特別専攻の教育プログラム
 - ② JABEE（日本技術者教育認定機構）教育プログラム
 - ③ Stop the CO₂ 教育プログラム
 - ④ MDASH リテラシ教育プログラム実施および AI 専門・応用教育の準備
 - ⑤ SDGs 教育推進のためのカリキュラム・授業の検討
 - ⑥ キャリア教育の体系化と産学連携教育（インターンシップ等）の全学的推進

2-4 大学院における教育

- (1) 大学院の専攻構成・カリキュラムの見直しと学生の研究活性化（大学院改革推進プロジェクトによる改革推進）
- (2) 大学院生の学内研究所活動への参画の検討（研究推進機構と連携）
- (3) 大学院生の産学連携教育の推進
- (4) 英語による授業増加策の推進
- (5) 学位論文審査基準の現状調査と改善および学生への明示方法改善
- (6) 大学院入試方式毎の選抜基準の調査と受験生への明示方法の改善

2-5 学生の受け入れ

- (1) 入学者選抜統括委員会の円滑な運用と自己点検評価の実施
- (2) 高校新指導要領への対応した選抜方式・入試作問の検討
- (3) 高校新科目「情報Ⅰ・Ⅱ」に対応した入試の準備
- (4) 合理的配慮を必要とする受験生について対応策の策定と公表
- (5) 入学基本方針検討WGの運用と点検・評価
- (6) オンラインを活用した入学前教育の強化と実施状況評価と改善
- (7) 入学定員超過率の厳格管理の継続的推進

2-6 教育組織

2-6-1 基礎・教養教育センター

- (1) 主体的学びにつながる動機付け教育、および学生の力を引き出し伸ばす教育の見直し
- (2) 基礎教育面からの教育改革ならびにオンライン授業の活かし方の検討
- (3) 入学前教育の拡大と充実

2-6-2 図書館

- (1) 学生の自主的な学修活動・意欲的活動を支援するための資料・サービスの強化
- (2) 地域における知的情報拠点としての役割の強化

- （3）教育研究・学修活動のニーズに対応した学術情報資源ナビゲーションシステムおよび研究学修環境の維持・改善
- （4）本学の教育研究分野と関連性の高いメディアコンテンツの整備
- （5）オンライン教育・学習のための学術・学修情報の整備と利用促進（学生の読書習慣促進含む）

2-6-3 情報教育研究センター

- （1）全学的 AI 教育、ICT 教育拠点として体制整備
- （2）ICT 技術を活用したオンライン教育・学習活動の推進
- （3）数理・AI・データサイエンス教育の実施および支援強化
- （4）センターの研究部門の充実と成果の評価、管理体制の点検・評価
- （5）IT を活用した教育・研究シンポジウムの開催

2-6-4 教育開発センター

- （1）3 つのポリシーの基づく教育に関連した FD の企画・実施
- （2）FD、アンケートを中心としたオンライン教育の検討
- （3）教育力向上のための FD プログラム実施・受講状況改善
- （4）基礎教育支援の状況調査・評価と改善案の検討
- （5）リカレント・リスキリング教育（オンライン含む）の導入の検討

2-6-5 国際センター

- （1）グローバル化教育としての TOEIC 受験者増・得点向上のための教育実施と評価
- （2）国際交流促進、特に学術交流協定の促進と協定校との関係強化
- （3）国際的なシンポジウム・講演会の企画・実施（学園創立 60 周年シンポジウム等）
- （4）英語版大学ホームページの充実による外国向け情報発信の強化
- （5）留学生の多様な受入れ体制の整備・充実による受入れ留学生増加の検討
- （6）English Lounge の充実と利用学生数増加策の検討
- （7）GAA(Global Access Asia)等の海外オープン教育リソースの活用促進策検討

2-6-6 教職教育センター

- （1）教職教育の質保証PDCAサイクルの点検と改善
- （2）教職教育のFDテーマの検討
- （3）教職課程自己点検評価報告書の作成と外部公表の検討
- （4）オンライン授業における教職教育の質保証に関する研究結果と外部公表の検討

2-7 教育環境

- （1）教室等の教育施設・設備の現状調査と評価および改善
- （2）教育改革にそった本学教育研究施設・設備の整備方針・計画の検討
- （3）教育環境に関する学生満足度調査の検討

3. 学生支援

3－1 学生指導とサービスの向上

- （1）「学生総合支援センター」の設置によるシームレスな学生支援体制の整備
- （2）学生支援方針の策定・公開
- （3）障害のある学生の修学支援の充実（「学生総合支援センター」体制での合理的配慮の決定と実行）及び「学生総合支援センター」における性的マイノリティ学生の支援体制の整備
- （4）コロナ禍によりダメージを受けた課外活動の支援（学生組織との連携による支援）
- （5）学生総合支援センターとの連携による学生相談室、健康管理室、学生サポート室でのポストコロナ期における学生相談・学修支援の強化
- （6）全学生の定期的面接実施にもとづく学生支援策の検討と実行（中退抑止対策を含む）

3－2 就職支援

- （1）就職率の向上、離職率の低減化策の検討
- （2）就業力育成支援の推進（インターンシップ、産学連携プログラムへの参加学生増加に向けた支援体制強化、学生のキャリア力の向上と評価、教職員のキャリア支援に関する意識・活動の向上など）
- （3）キャリア支援施策の見直しと新施策の検討
- （4）大学院生の新規就職進路の開拓と院生に特化した就職活動支援の強化
- （5）企業との情報交換会の定期的な実施
- （6）新分野企業、地方公務員を含む新規就職先の開拓
- （7）卒業生へのアフターケアの強化（進路未決定者・転職希望者への支援を含む）

4. 研究

4－1 研究推進

- （1）社会的ニーズに対応した新組織（研究推進機構と5つの機能別部門）による新研究体制の運用
- （2）Society5.0等を考慮した重点研究分野における戦略的研究領域の策定
- （3）戦略的研究費配分の運用開始
- （4）外部資金獲得支援体制の強化
- （5）大学院との連携による研究推進と人材育成
- （6）ブランディング事業を含む地域課題対応研究計画（2025年度まで）の策定
- （7）研究広報の強化と研究のオープン化の推進
- （8）大学発ベンチャーの支援強化計画の検討

4－2 研究コンプライアンス

- （1）研究コンプライアンス強化計画の策定
- （2）研究不正行為防止啓蒙活動の継続実施と実施上の問題点改善
- （3）学生への研究倫理教育の実施と理解度評価の仕組みの策定

（4）安全保障貿易管理の運用計画策定

5. 地域連携・貢献

- （1）地域連携・貢献センターによる教職員、学生の活動支援およびセンターの企画・調整・広報活動の強化
- （2）神奈川県及び県央地区自治体との地域連携、産学官民の異なる分野の連携強化
- （3）地域の人材育成への協力推進（KAIT未来塾、理科教室等）
- （4）ITエクステンションセンターにおける地域生涯教育の実施
- （5）大学の人的・物的資源活用の推進（災害時等）
- （6）厚木市内5大学が連携した地域教育の実施
- （7）地域の安全安心に向けた地域連携災害ケア研究センター活動の推進

6. 大学運営施策

6－1 大学運営

- （1）学生本位主義をより鮮明にした諸施策の検討・実施
- （2）最適な運営体制の検討（学長を中心とした教学ガバナンス体制の強化）
- （3）継続的な 18 歳人口減少に対応する学部・学科体制の見直し、本学独自の優位性を保てる施策などの検討
- （4）効率的な組織の検討と移行による経営力の強化
- （5）オンラインでの全学的な SD の計画的実施の継続と研修内製化のための人材育成
- （6）リモートワークに対応する勤務形態の検討と帳票電子化を志向した業務体制の管理・運営
- （7）学園創立 60 周年（2023 年）に向けた企画等の検討・実施（KAIT Vision60 の策定、地域連携施設等）
- （8）ICT システムセンターの設置とセキュリティ保護を含む全学的インフラ整備の継続的推進
- （9）全学的な危機管理体制の整備（多様化する危機要因の分析、災害に強いキャンパス化の推進）
- （10）監事、監査室等による監査体制の充実強化および三様監査の連携強化とコンプライアンス体制の充実強化
- （11）ホームカミングデーの充実および同窓会との連携強化（学園創立 60 周年の企画等の検討を含む）
- （12）省エネルギー化およびエコ活動の推進

6－2 財務

- （1）財務分析に基づく収支構造の継続的な見直しにより資源配分の最適化を実施
- （2）全学的な ICT 基盤構築後の学内 DX 推進に向けた適切な資源配分の検討

- （３）学園創立 60 周年記念事業や巨大災害に備えた施設整備等の諸施策展開に必要な金融資産の拡充
- （４）収支均衡の確保と財務基盤の安定化に向けた厳格な予算統制の実施

6-3 広報

- （１）WEB オープンキャンパスを含めたホームページの充実
- （２）ターゲットを明確にした広報媒体の強化等戦略的広報の推進
- （３）神奈川県内高校との高大連携活動の強化
- （４）進学アドバイザー体制・連携の強化
- （５）マスコミへのアプローチ強化

6-4 IR・企画推進室

- （１）エンrollment・マネジメントの分析の提供により、AP に則った学生確保および適切な学生支援の充実
- （２）今後の継続的な 18 歳人口減少に対応できる戦略の策定に寄与する情報収集整理と分析
- （３）学生支援のための学生データベースの充実
- （４）本学の事業活動立案に寄与する情報収集及び分析結果の副学長・学部長会議、理事会への提供を促進

（以上）

※本個別事業計画は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響がおおよそ終息していることを前提に策定した。感染拡大等の状況になった場合は計画を変更する場合もある。

*用語：

- 1) 3 つのポリシー：教育研究上の目的及び教学に関わる 3 つの方針（DP, CP, AP）
 - DP（ディプロマ・ポリシー）：卒業認定・学位授与の方針
 - CP（カリキュラム・ポリシー）：教育課程編成・実施の方針
 - AP（アドミッション・ポリシー）：入学者受入れの方針
- 2) FD（ファカルティ・ディベロップメント）：教員が授業内容・方法を改善向上させるための組織的な取組
- 3) SD（スタッフ・ディベロップメント）：職員（事務職員、教員や学長等の大学執行部、技術職員等）が大学等の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるための取組
- 4) MDASH（Mathematics, Data Science and AI Smart Higher Education）リテラシ教育プログラム：数理、データサイエンス、AI の知識を様々な専門分野へ応用・活用できる高度な技術者を目指す教育プログラム